

## 令和元年度赤い羽根共同募金助成事業

### 0・1・2・3 歳児と親のはじめてのおしばい



#### ◆コミュニティ長柄

2019年 8 月 15 日 (木 ) 10:00~11:00

プログラム名：わらべうたあそび うたとおはなしのじかん

パフォーマー：大沢 愛

#### ◆ほうゆうベビーホーム

2019年 8 月 20 日 (火) 9:30~11:00

プログラム名：わらべうたあそび うたとおはなしのじかん

パフォーマー：大沢 愛

#### ◆栗野児童センター

2019年 10 月 1 日 (火) 10:20~11:00

プログラム名：ののはなげきじょう

パフォーマー：納富俊郎 祥子

主催：特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター

〒260-0031 千葉市中央区新千葉2-7-16 サンコート新千葉102号

TEL：043-301-7262 FAX：043-301-7263

E-mail:kidchiba@lily.ocn.ne.jp URL <http://chiba.gekijou.org/>

## 目的

乳・幼児の親子が安心して生の舞台と出会い、そのことにより親子の絆を深め交流し、ほっとする時間を過ごし、子育てを楽しく感じる場をつくる「0.1.2.3歳児と親のためのはじめてのおしばい」を、県内の乳児院他団体と連携して行う。

NO	実施日・時間	実施病院・施設	パフォーマー	子ども+大人 総参加人数	子ども 参加人数	大人 参加人数	スタッフ数 (理事等)
1	8月15日(木) 10:00~11:00	コミュニティ長柄	「わらべうたとおはなし のじかん」大沢愛	38	17	16	5
2	8月20日(火) 9:30~11:00	ほうゆうベビーホ ーム	「わらべうたとおはなし のじかん」大沢愛	75	32	39	4
3	10月1日(火) 10:20~11:00	栗野児童センター	「ののはなげきじょ う」納富俊郎・祥子	76	36	35	5
	合計	3か所		189	85	90	14

### ■乳幼児の様子 変化 (ヒアリング アンケートデータより)

- ・まばたきを忘れていたのではないかと思うほど、じっと見つめていた。(保育士)
- ・同じ歌をくりかえすことで何が起きるかわかり嬉しそうにする表情がみられた。(保育士)
- ・パフォーマーの方の歌声、手や指先の動きなど、様々なことに興味を示し、目で追っていた。(保育士)
- ・まねはしなくても、じーっとあいさんの様子を見てやさしい声をきいて、口をぽかんと開けて関心をもった表情をしていた。(支援者)
- ・保育者と1対1で向き合っふれあい遊びが始まると、声を出して笑い柔らかな表情になる。(保育士)
- ・おはなしが好き。音楽がたのしそうだった。 しんけんに見れていた。(保護者)
- ・ごろごろ寝ながらも、しっかり見ていました。リラックスして見られたようです。(保護者)

### ■保護者の様子 親子の愛着形成について (ヒアリング アンケートデータより)

- ・我が子と一緒に見た保護者 28人からは①たのしかった24 ②いやされた15  
③うれしかった6 ④安心できた3 ⑤ほっとした2
- ・やさしい音でとてもおだやかな気持ちになれた。
- ・1対1のコミュニケーションで心が満たされ、目や耳から様々な刺激を受けることができ、成長発達にとっても大切だと思いました。(保育士)
- ・見る力 聞く力 集中力が養われる。(保育士)
- ・スキンシップをとりながら遊ぶことで愛着関係を築くことができると思いました。(保育士)
- ・心地よさからか、途中ウトウトしている様子もみられ、安心して気持ちで過ごすことができたのだと思いました。
- ・愛されている安心感が持てる。守られている安心感。自信がつく。

### ■成果

プロのパフォーマーによるわらべうたと人形劇を3か所に届けました。安心できる環境のもとで、親子で、または施設の保育士さんのおひざや抱かれて0歳~2歳の赤ちゃんがアートに触れました。0歳の赤ちゃんは、歌声や音、手のうごき、話しかけにじーっとみて、にこっと笑い、1歳・2歳になると、声を出して笑い、指さしや真似もして音や動く人形に興味を示し、立って音の出る物にさわりたいがり、発達段階に応じてすごくよくみる。そしてよく聴いて、保護者や保育士がびっくりするほどの反応と発見の連続でした。赤ちゃんには生まれもった力があることを驚きをもって実感しました。また、プロのパフォーマーが、親子や保育士との1対1でのふれあいやスキンシップを上手にうながし、お母さん自身が楽しくてうれしくて笑顔になり、幸せそうなやさしい顔になっていきました。また見たい！子どもにも見せたい！は100%です。乳幼児期の親子の愛着形成と子育て支援に、芸術的手法、芸術の力が大きな効果をもたらすことに確信を得ました。赤い羽根の助成金を頂いたことで実現し、有効に活用できましたことを感謝しております。



実施施設：(コミュニティ長柄) 令和元年赤い羽根共同募成  
プログラム名：「わらべうたとおはなしのじかん」



実施場所：コミュニティ長柄

実施日時：2019年8月15日(木) 10:00 ~ 11:00

参加者数：総数 30人

子ども17人(0歳 3人 1~3歳 14人)

大人16人(保育士6人 看護師4人 その他6人)

スタッフ数：パフォーマー1人(特表現教育研究所 大沢愛)

コーディネーター&スタッフ5人(鈴木佳子 中村雪江 買場都明 滝口淳子 桑原信子)

### プログラムの内容

0歳：チッチッチとんでいけ、てんこてんこてん、ニギニギ ひざの上でねんころりんさよならあんこもち

1歳以上：チッチッチとんでいけ、おうまどうどう、えっささいきましょう、バルーン布あそび、おとあそび

### 当日の様子

**0歳児**：「○○ちゃん」「○○ちゃん」「○○ちゃん」とやさしく呼びかけ、顔を近づけ目をみて、ちっちちちち てんけこてん ジーっとよくみている。なんとも堂々して、わらべうたやしぐさに反応して顔の表情が変化し、笑顔になっていった。おひざの上に寝転ぶようにして高くしたり低くしたりする。にぎにぎにぎ きらきらきらでじーっとみて「おー うー」と声を出してお話しにこにこ笑顔を見せた。わあ！すごい！感じる！0歳の赤ちゃんがこういう表情を見せるの？！驚いたし感動した。コチョコチョコくすぐられると保母さんにしがみついてくすぐったそうにしている。

### 1歳児~3歳児

何となく緊張気味の子どもたち。「♪チッチッチこことまれ とまらんチッチはとんでいけ」と、指を高く上げると、指を目で追っている。わらべうたにのせてコチョコチョコくすぐると子どもたちが喜ぶ。保母さんのおおひざの上に、向かい合っておすわりし、ねずみコチョコチョコ こめくってこーちょこちょ くすぐられてうれしそうにニコニコ顔。立って抱っこして円形に回りながら、「♪えっさっさ いきましょう・・・ どぼーん」と深く座る。きれいな絹の布のバルーンが子どもたちの真上に上がった。「♪あのはしわたろ わたろ わたろ にじのはしわたろ・・・」ふわりふわりと布が子どもたちの頭上で揺れた。どこかからオーシャンドラムの音がザーザーとすると、なに？ 何の音？という感じで音の先を追いかけている。おうと声を出す子 立つ子 指さす子 のぞいてみている。終わりを告げる鐘の音がチーン、♪さよならあんころもち またきなこ。

### 施設関係者からの声

- ・パフォーマーのうた、手や指先の動きなど、様々なことに興味を示し目で追っていた。
- ・子どもが喜び、笑顔を見せると養育者も自然と笑顔になった。
- ・繰り返しのあるうた、ゆったりしたリズムで大人と触れ合うことで心が穏やかになり、情緒の安定につながる。
- ・1対1で触れあうことで愛着形成を築くことができる。

実施施設：(ほうゆうベビーホーム) 令和元年赤い羽根共同募金助成

プログラム名：「わらべうたとおはなしのじかん」



実施場所：ほうゆうベビーホーム 1・2回目：生活施設 3回目：地域交流スペース

実施日時：2019年8月20日(火) 9:30 ~11:00

参加者数：総数 71 人

★子ども 32 人

1回目 乳幼児(0才児10人) 2回目 乳幼児(1歳児7人) 3回目(2才児15人)

★大人 のべ39人

1回目 施設関係者12人(保育士11人) 2回目 施設関係者 9人(保育士9人)

3回目 施設関係者18人(保育士15人 職員3人)

スタッフ数：パフォーマー1人(特表現教育研究所 大沢愛)

コーディネーター&スタッフ4人(鈴木佳子 買場都明 綿貫のぼら 買場都明)

## プログラム

チッチッチこことまれ てんこてんこてん お馬さんはつよい。○○ちゃんもつよい。布のバルーン  
ぎっこんぱったん とんぼとんぼ オーシャンドラム 鐘の音 さよなら あんころもち、またきなこ

### 子どもの様子(0歳児)

1人はスヤスヤお昼寝中。チチチ…ここへとまれ、とまった。笑顔になる。上手じょうずと褒められると笑う。愛さんが一人一人に名前を呼びながら向き合うと、子どもも愛さんをじっとみて、笑顔になっていく。名前を呼ばれると、声を出して反応する。自分が呼ばれていることがわかる。♪お馬はつよい。○○ちゃんもつよい。名前を呼ばれるとうれしそうに笑う。

### 子どもの様子(1歳児)

ちょっと人みしりかな。ぐずる子がちらほら。チチチ…ここへとまれ、とまらんチチチ…は飛んでいけ。愛さんのやさしい声に集中している。ぐずった子も静かに何が始まるんだろうとじっとしている。飛んで行った先を目で追う。はじまったら、人見知りもどこへやら。♪ぎっこんぱったん ちゃんころりん。えっへへ、笑った。声を出して笑う。オーシャンドラムの音は、全身が耳というくらい澄ます姿勢。心地よい顔で保育士の顔にタッチする子もいた。

### 子どもの様子(2歳児)

とんぼとんぼでは、歌声に乗せ、フェルトの赤とんぼを一人一人の指にそっとのせていく。愛さんは子ども達と目を合わせ大事そうに乗せる。子どもたちは指を突き出して待っている。立って手をつなぎ大きな輪。大きくなあれ小さくなあれ、A君は輪の真ん中を行ったり来たり、一体感も生まれた。その列で、かりかり渡れ。見事な1列で、カーテンの外までおさんぽをした。ベルの心地よい響きを聞きながら、おしまい。

### 施設関係者の声

- ・皮膚と皮膚が触れ合うような抱っこする時間がとれて良かった。職員にも子どもたちにも良い経験になった。
- ・波の音、鈴の音に何だろうと「シーン」とする時間があつた。トンボが友達にとまったり、自分にとまってくれるかな?とゆっくりしたテンポの中で待っていた。
- ・人見知りの年令なので心配したが、わらべ歌の効果はすごい!。ガードがはずれる。笑顔になった。



実施施設：(栗野児童センター ) 令和元年赤い羽根共同募金助成

プログラム名：人形劇「のはなげきじょう」



実施場所：栗野児童センター 1F ゆうぎ室

実施日時：2019年10月1日(火) 10:20 ~11:00

参加者数：総数 71 人

★子ども 36 人

乳幼児 (0 才児：5 人 1 歳児：17 人 2 歳児：11 人 3 歳児：3 人)

★大人 のべ 35 人

保護者 30 人 施設関係者 4 人 (保育士 3 人 所長 1 人) 鎌ヶ谷市子育て支援課課長 1 人

スタッフ数：パフォーマー 2 人 (人形劇団のはな 納富俊郎 納富祥子)

コーディネーター&スタッフ 5 人 (中村雪江 鈴木佳子 買場都明 宇野京子 大森智恵子)

## プログラム

しろくまちゃん ウレタンロボット 紙ぶくろのむしゃむしゃくん ぴよんちゃんとケロちゃん  
くねくね ねんねんねこのこもりうた

## 子どもの様子

「しろくまちゃん」が始まると、おひぎの子もママのそばに立ってる子も、みんなじーっと注目していた。「あー、きいろ、きいろ」と指さした。黄色い棒のによるによるくんとしろくまくんの不思議な動きのやり取りをじーっと見ていた。ウレタンロボットが出てくると「だれー?」「こんにちは」とあいさつにこたえる子がいた。体操の体の動きを見て「すごい」と、笑い声が起った。ジャンプしたとき、何人かつられて立ったり、跳ねたりする子がいた。ねんねんねこの時に、ずっと立ってた子も、ママのおひぎに戻ったりピタッしたり、ほほえましかった。公演後のしろくまちゃんとのふれあいで、にこにこと、いとおしそうに抱っこしていた。

## 保護者の声

- ・あきずにじっとみていた。動くぬいぐるみに興味を示し、ロボットのお話が一番興味があるようだった
- ・ピアノの音や歌に合わせて人形の動きに興味をもっていた。
- ・座っているのが難しいかと思ったが、興味を持つと持続できるとわかった。30分、母のそばでみていられた。
- ・わが子の様子は？ ①よくわらっていた 9 ②じーっとみていた 19 ③あきたようだ 3 (途中から) ④まねをしていた 3 ⑤みとれていた 5 ⑥興味をもった 11
- ・親子でいっしょに観てどうでしたか？ ①たのしかった 24 ②いやされた 15 ③うれしかった 6 ④安心できた 3 ⑤ほっとした 2 ⑥つかれた 0 ⑦気が気ではなかった 1
- ・やさしい音でとてもおだやかな気持ちになれた。

## 施設関係者の声

- ・どの子もよく観てた。親もびっくりと言っていた。身近な周りにあるものを使った人形で勉強になった。ひらがなの「ね」がちゃんとネズミに見えてきた。すごい。お母さんたちがとても楽しんでた。(所長)
- ・小さい子があんなに集中して見てるなんて・・・。子どもたちがあんなに引き付けられるものかと驚いた。音楽と合わせて微かな動きもすごい。一体感になっていた。子育て支援に芸術がとてもいいと感じられた。(子育て支援課課長)

令和元年度赤い羽根共同募金助成事業



報告書